令和6年度第10回安塚区地域協議会　次第

日時：令和7年2月25日（火）午後6時00分から

場所：　安塚コミュニティプラザ 3階 大会議室

1　開　会

2　報告事項

⑴ 地域独自の予算事業の一覧について【資料№1】

3　自主的審議事項

⑴ 旧安塚中学校の利活用について【資料№2】

4　その他

⑴ 次回開催　　月　　日（　）午後　　時　　分から

5　閉　会

令和7年度地域独自の予算事業一覧表（安塚区）

○事業一覧

No.	事　業　名	実施主体	総事業費（①）（千円）	予算額（②）（千円）	自己負担額（①-②）（千円）	歳出科目		
						目名称	事業名	担当課
1	棚田等の維持・活用に関する研修・交流会事業	エコ・ヴィレッジ大原	270	189	81	農業振興費	中山間地域等活性化対策事業	農村振興課
2	やすづか「小さな祭り」開催事業	特定非営利活動法人ＮＰＯ雪のふるさと安塚	1,330	1,197	133	農業振興費	安塚地域産業振興施設管理運営費	農村振興課
3	「風土が料理人2025」スローフードフェア開催事業	特定非営利活動法人ＮＰＯ雪のふるさと安塚	967	676	291	農業振興費	安塚地域産業振興施設管理運営費	農村振興課
4	山のうえの雪まつり事業	山のうえの雪まつり実行委員会	2,700	1,287	1,413	観光交流費	観光振興対策事業	観光振興課
5	山のうえ真夏の雪まつり事業	山のうえの雪まつり実行委員会	1,276	893	383	観光交流費	観光振興対策事業	観光振興課
6	安塚リバーサイド「小さな桜まつり」開催事業	特定非営利活動法人ＮＰＯ雪のふるさと安塚	1,750	1,225	525	観光交流費	観光振興対策事業	観光振興課
	計　6件		8,293	5,467	2,826			

○事業内容（委員会資料から関係部分を抜粋）

・棚田等の維持・活用に関する研修・交流会事業
　棚田を始めとする中山間地の田や里山の保全を通じて集落の活性化を進めるため、耕作の維持や地域資源の活用に取り組む人を対象とした情報交換や研修を行い、ネットワークの形成、相互啓発や連携した取組の促進を図る。
　実施主体：エコ・ヴィレッジ大原

・やすづか「小さな祭り」開催事業
　安塚区の「食」と「雪」がそろう「雪だるま物産館」及び「雪中貯蔵施設ユキノハコ」、小黒川沿いの「リバーサイドロード」を活用し、区内の様々な活動団体が連携するイベントを開催することで、活動団体の意欲向上と地域の魅力発信を図る。
　実施主体：特定非営利活動法人 ＮＰＯ雪のふるさと安塚

・「風土が料理人2025」スローフードフェア開催事業
　雪と棚田に代表される安塚の風土が育んだ食の魅力をアピールするため、食と物産の拠点施設である道の駅雪のふるさとやすづかの3 施設において、スローフード講座等のイベントを開催し、交流人口の増加により地域の活性化を図る。
　実施主体：特定非営利活動法人 ＮＰＯ雪のふるさと安塚

・山のうえの雪まつり事業
　安塚キャンドルロードの開催に合わせ、安塚区の拠点施設であるキューピットバレイスキー場において、雪上花火や雪を活用したイベントを行うことで、交流人口の増加による、地域の活性化を図る。
　実施主体：山のうえの雪まつり実行委員会

・山のうえ真夏の雪まつり事業
　安塚区の拠点施設である、キューピットバレイスキー場において、地域資源である「雪室の雪」を活用したイベントを真夏に開催することで、他の地域との差別化を図り、交流人口の増加による、地域の活性化を図る。
　実施主体：山のうえの雪まつり実行委員会

・安塚リバーサイド「小さな桜まつり」開催事業
　桜並木のある小黒川沿いの「リバーサイドロード」を活用し、桜の開花する時期に茶屋や写真展等の桜まつりを開催し、交流人口の増加による、地域の活性化を図る。
　実施主体：特定非営利活動法人 ＮＰＯ雪のふるさと安塚

【資料No.2】

自主的審議事項「旧安塚中学校の利活用について」検討案の整理

検討案	目標	現状等	課題	今後の対応案	協議案
やすづか学園の移転	・学園の充実	・支援している地元(支援委員会)が高齢化している。 ・施設が老朽化している。 ・利用者については、年間を通して増減があるが概ね 20～30 名程度。	・学びの多様化学校（旧諏訪小学校）の開校が令和８年４月からであり、開校後の状況が不確定である。 ・やすづか学園自体の移転希望の有無が不明。	**○関係者への聞き取り** ・いつ（　　月頃） ・どこで（学園、コミプラ、その他） ・誰に（社協、市、先生、地域、その他） ・誰が（全員、一部の委員） ・何を聞くのか（　　）	**○関係者への聞き取り** 時　期：３月中旬（5日～14日の平日の日中） 場　所：やすづか学園 相　手：職員及び児童・生徒 ※職員と児童・生徒は別に聞き取り 時　間：1時間 30 分程度 参加者：希望する委員 その他：今後支援委員会への聞き取りも行う
商業施設化	・地域の活性化 ・雇用の創出 ・子どもや地域住民の憩いの場の創出 ・地域のにぎわいの創出	・区内には道の駅（雪だるま物産館・ 雪むろそば家小さな空）やキューピットバレイスキー場がある。 ・区内に小さな空以外の食堂がない。 ・地元の人や子ども達が集える場所がない。	・出店希望があるか。 ・集客の見込みがあるのか。(採算が取れるのか) ・運営主体はどうするのか。 ・区内には、道の駅やスキー場などの商業施設がある中で、新たな商業施設が必要なのか。既存施設の拡充や改修でも良いのではないか。 ・新たな商業施設の整備費を支出できるのか。	**○先進地への視察** ・いつ（　　月頃） ・どこへ ■視察先（案） ①十日町：雪国居住空間コンテスト ②南魚沼：サウンディング調査 ③長岡:障害福祉サービス事業(レストラン) ④その他：長野県飯綱町（交流施設） ・誰が ・どんな目的で	**○先進地への視察** 時　期：４月中旬（平日の日中） 場　所：長岡市（旧島田小学校） 内　容:障害福祉サービス事業(レストラン事業等) 時　間：１日を予定 参加者：希望する委員 その他：データセンター誘致の関係の研究員が長岡市在住であることから、訪問と併せて１日で実施する。
データセンターの誘致	・雇用の創出 ・税源の涵養 ・地域経済の活性化	・市として積極的にデータセンターの誘致はしていない。（待ちの状況） ・校舎は雪を活用した雪冷房設備がある。（体育館及び一部の部屋は未設置） ・元雪だるま財団の研究員の方が、他の市で雪冷房を活用したデータセンターを導入した際に検討委員会の委員長をされていた。 ・体育館屋根に太陽光発電設備がある。	・体育館は雪冷房設備が未設置であり、かつ高床のため機器の設置には、床の補強等が必要になると思われる。 ・教室などで運用可能か。	**○研究員を招いての研修会の開催** ・いつ（　　月頃） ・どこで(コミプラ、その他（　　)) ・どんな内容で ■内容（案） ・データセンターとは ・雪室との関係 ・太陽光発電の関係 ・旧安塚中学校の可能性 ・どのように使用するのか ・どんなニーズがあるのか　など	**○長岡に訪問** 上記の視察と併せて訪問する。